



KBF 関甲新学生野球
2022 秋季 1・2部入替戦

小関 現社2年
3号
2ラン
大学公式戦通算

1部

石原 現社1年
強襲二塁打連発!!!
期待の新星

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
常磐大	1	2	3	1	0	0	0	1	1	9	16	0
群馬大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	8	5

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
群馬大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6	0
常磐大	0	0	1	1	0	0	0	0	X	2	7	1

8打数 6安打 4二塁打
打率 .750 出塁率 .800
長打率 1.250 OPS 2.050

群馬大学戦
2勝0敗

写真 2戦目、3回裏、2塁打を放つ石原（1年）

2022 年関甲新学生野球秋季リーグ戦 1・2部入替戦、常磐大学（1部 10位）は群馬大学（2部総合優勝）に2勝し、1部リーグ残留を決めた。

【11/26 常陸太田市里美運動公園野球場】常磐大学の先発投手は荒木嶺臣（2年）。初回、常磐大学の攻撃。2番大隈聖蓮（2年）、3番石原裕太（1年）の連続安打でチャンスを作ると5番長山大輝（1年）の適時打で1点を先制する。続く2回、9番渡辺優斗（1年）、1番川波祐貴（2年）の連続安打でチャンスを作り、3番石原の適時二塁打で2点を追加する。続く3回、先頭の長山が二塁打で出塁、6番小関貴太（2年）がライトへ2ラン本塁打を放ち、この回3点を追加する。続く4回1死から満塁のチャンスで7番大塚偉歩己（2年）の内野ゴロの間に1点を追加してその差を7点とする。

その後は、両チームとも0点が続き、迎えた8回、先頭の石原が二塁打で出塁、続く4番所宜和（2年）の適時打で1点を追加する。しかしその裏、群馬大学の攻撃、2本の安打でピンチを作り、適時打で1点を失う。迎えた9回、大隈聖蓮（2年）が四球で出塁、続く3番石原二塁打を放ち1点を追加し、その差を8点とした。その裏の群馬大学の攻撃は打者を3人に抑え、常磐大学は初戦を

白星で終えた。9-1。

先発荒木は、6回無失点の好投をみせた。常磐大学のバッテリーは、荒木、山田早喜（2年）、安達嵩斗（2年）一長瀬祥太。

【11/27 常陸太田市里美運動公園野球場】常磐大学の先発投手は三浦彰弘（2年）。3回、群馬大学の攻撃、先頭打者を安打で出塁を許し、その後送りバントなどでピンチを広げると相手2番の適時打で1点を先制される。

しかしその裏の常磐大学の攻撃。石原裕太（1年）が二塁打で出塁し、続く4番所宜和（2年）の適時三塁打で、すぐさま同点に追いつく。続く4回、常磐大学の攻撃、先頭の石原貴太（2年）が安打で出塁、その後犠打などでチャンスを広げ、9番渡辺優斗（1年）の適時打で1点を勝ち越す。

その後は両チームの投手戦となり、0点が続き、両者ともに最終回まで加点できず、試合終了。1-2で常磐大学が勝利を収めた。

先発三浦は、6回1失点。7回、笹目翔太郎（3年）、8,9回を遠藤優太（3年）に繋ぎ、継投で無失点に抑えた。

常磐大学のバッテリーは、三浦、笹目、遠藤優太（3年）一飯塚大翔（2年）。

(文・高須雅哉)